

2025 年度ゼミ（演習 3A／演習 3B）要覧

担当者名	新多 了
演習テーマ	言語はどのように学ばれるのか？—第二言語習得研究
内容と 卒業論文の 指導方針	「第二言語習得」とは、私たちが母語習得後にどのように2つ目以降の言語（第二言語、または外国語）を学習し使用するのかについて研究する学問分野です。第二言語習得は、「どうすれば第二言語を習得できるのか？」という現実的な問いに答えるために、言語学、心理学、社会学、教育学、人類学などの様々な分野を取り込みながら学際的分野として発展してきました。本演習では、第二言語習得の基本的な理論や概念について理解を深めながら、関連テーマに関するリサーチを行い、卒業論文を完成させます。
メール・アドレス	ryo.nitta@gmail.com
オフィス・アワー	火・金お昼休み（面談希望の場合は、事前にメールで連絡）
授業概要	<p><3A></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 第二言語習得の主要なテーマ（母語習得と第二言語習得の違い、第二言語習得に影響を与える個人差要因、様々な外国語教育アプローチなど）の理解 ● 研究計画作成 ● データ収集 <p><3B></p> <ul style="list-style-type: none"> ● データの分析・考察 ● 卒業論文作成
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ● 第二言語習得の基本的な研究テーマ・研究方法について理解する。 ● 興味と経験に基づき研究テーマを決定し、関連する先行研究について網羅的に理解する。 ● 適切な方法でデータ採取・分析を行う。 ● 卒業論文としてふさわしいレベルの論文を完成させる。
授業計画	<p><3A></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 第1週：イントロダクション ● 第2週-第5週：第二言語習得の主要テーマの理解（文献講読、発表、ディスカッションなど） ● 第6週-第8週：研究方法の理解 ● 第9週-第10週：研究計画書作成 ● 第11週-第14週：研究テーマに関する文献調査；並行して、データ収集を行う ● 第15週：中間発表1 <p><3B></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 第1週：イントロダクション ● 第2週：中間発表2 ● 第3週-第4週：データ分析 ● 第5週-第14週：卒業論文作成、フィードバック、修正

	<ul style="list-style-type: none"> 第 15 週：卒論発表
予習	<p><3A>毎回設定されたテーマについて文献講読や発表準備を行う。</p> <p><3B>計画的に研究を進め、卒業論文を完成させる。</p>
復習	授業内容を振り返り、学んだ内容を整理する。
授業に関する 注意事項	<p>新規開講演習ですので、1 年間で第二言語習得の基礎について学びながら、卒業論文の研究も行います。第二言語習得を学ぶ意欲の強い方や関連するトピックに関する疑問を持っている方を歓迎します。例えば、以下のようなテーマが考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 英語学習は何歳までに始めるべきか？（早期英語教育） 英語力とは何か？どのように英語力を測定するのか？（言語テスト；CEFR） なぜ英語スピーキングは難しいのか？（第二言語スピーキング） 留学は第二言語能力にどのような影響を与えるのか？（留学と第二言語習得） 生まれつき外国語学習に向いている人はいるのか？（外国語適正） 英語学習に対するやる気が持続する人はどのような特徴を持っているのか？（動機づけ） 外国語を学ぶことは自分の考え方にどのような影響を与えるのか？（第二言語アイデンティティ；複言語主義） 英語学習に有利な性格はあるのか？（パーソナリティ） どのような外国語授業が思考力を高めるのか？（バイリンガル教育）
教科書	馬場今日子・新多了(2016)『はじめての第二言語習得論講義-英語学習への複眼的アプローチ』（大修館書店）
参考書	<ul style="list-style-type: none"> 新多了(2019)『「英語の学び方」入門』（研究社） 中田達也・鈴木祐一編(2022)『英語学習の科学—第二言語習得の専門家 11 人に英語学習について聞いてみました』（研究社）
成績評価の基準	授業への積極的な参加、発表、振り返りシートの記入内容などから、総合的に評価します。
関連 URL	
認定留学期間中の 遠隔指導	可
備考	